

平成26年度 島根大学教育学研究科現職教員短期1年履修コース 活動報告

I 現職教育支援センター及び教育学研究科現職教員短期1年履修コースのメンバー構成

(1) 担当教員（現職教育支援センター兼任教員）

役職・所属講座・職名	氏名	専門領域
現職教育支援センター長 人間生活環境教育講座・教授	多々納 道子	家政教育学
現職教育支援センター副センター長 自然環境教育講座・教授	栢野 彰秀	理科教育学
初等教育開発講座・教授	川路 澄人	図工・生活科教育
健康・スポーツ教育講座・教授	平井 章	スポーツ哲学・体育科教育学
心理・発達臨床講座・教授	稲垣 卓司	障害児精神医学・思春期精神医学
初等教育開発講座・教授	富竹 徹	算数科教育学
教師教育センター・教授	権藤 誠剛	教育方法学
人間生活環境教育講座・教授	橋爪 一治	技術科教育・情報教育
初等教育開発講座・准教授	熊丸 真太郎	教育経営学

(2) 入学生の専攻・コースと指導教員

*主担当教員

氏名	所属する専攻・コース	主指導教員	副指導教員
瀬川 明臣	教育実践開発専攻 学習開発コース	川路 澄人	*香川 奈緒美 大谷 みどり
足立 理子	教育実践開発専攻 発達臨床コース	多々納 道子	*高橋 悟 御園 真史
曾田 博美	教育実践開発専攻 発達臨床コース	稲垣 卓司	*原 広治 小川 巖
松浦 みどり	教育実践開発専攻 発達臨床コース	稲垣 卓司	*樋口 和彦 権藤 誠剛
前川 めぐみ	教育内容開発専攻 言語系教育コース (英語教育分野)	富竹 徹	*猫田 英伸 大谷 みどり
倉信 充人	教育内容開発専攻 自然系教育コース	橋爪 一治	*栢野 彰秀 塚田 真也
園山 裕之	教育内容開発専攻 自然系教育コース	平井 章	*栢野 彰秀 御園 真史
中谷 壮志	教育内容開発専攻 健康系教育コース	多々納 道子	*平井 章 廣兼 志保

II 年間スケジュール

月日	行事
4月4日(金)	入学式
4月7日(月)	平成26年度現職教員短期1年履修コース(第7期生) 入学オリエンテーション
4月8日(火)	前期授業開始
6月2日(月)	「特別課題研究」の研究テーマ提出
6月10日(火) ～7月29日(火)	各自の「特別課題研究」のテーマ発表会

8月9日(土)	島根大学大学院教育学研究科現職教員短期1年履修コース実践報告会並びに講演会 研究概要の発表
10月1日(水)	後期授業開始
11月4日(火)	「特別課題研究」中間発表会
1月13日(火)	「特別課題研究」の提出
2月2日(月)	「特別課題研究」の要旨の提出
2月中	「特別課題研究」の審査及び試験(口頭試問)
2月3日(火)	「特別課題研究」の成果発表会
2月5日(木)	現職大学院生と島根県現職派遣研修生との研究交流会
3月25日(水)	学位授与式

III 年間行事のタイムスケジュール

(1) 島根大学大学院教育学研究科現職教員短期1年履修コース実践報告会並びに講演会

日時: 平成26年8月9日(土) 14:00~17:00
場所: 島根大学教育学部棟 517室(多目的ホール)
日程: 13:30~14:00 受付
14:00~15:40 研修1 「現職教員短期1年履修コース生の実践・情報交換」
16:00~17:00 研修2 講演「学力向上のための学校組織マネジメント」 講師 島根大学教育学部初等教育開発講座 特任教授 高塚 寛 先生
17:00 閉会行事

*当日、台風接近による悪天候のため中止し、10月24日(金)に高塚寛先生の講演会を実施した。

(2) 『特別課題研究』中間発表会 (PHOTO1)

目的 ○ 「特別課題研究」で各自が研究・実践したことを発表し合い、実践した内容を整理したり、さらに深化したりする。 ○ 「特別課題研究」で研究・実践したことをどのようにまとめていくか整理する。
日時: 平成26年11月4日(火) 9:30~15:00
場所: 島根大学教育学部棟 G27号室

(3) 平成26年度 現職教員短期1年履修コース『特別課題研究』成果発表会 (PHOTO2,3)

目的 ○ 「特別課題研究」として1年間研究・実践した成果・内容について発表する。 ○ 成果を広く公開し、多くの示唆を得る場を設ける。
日時: 平成27年2月3日(火) 9:20~16:00
場所: 島根大学教育学部25番教室

日程

時間		発表者	「課題研究」題目
9:20~9:30	開会式		
9:30~10:00	発表①	曾田 博美	通常の学級における特別な支援を必要とする児童への教師のかかわり
10:00~10:30	発表②	中谷 壮志	小中一貫教育を考えたネット型ゲームの教材開発 —戦術学習による児童生徒の変容の分析—
10:30~11:00	発表③	松浦 みどり	知的障がいをもつ児童の音声言語表現の拡大を目指した指導のあり方
休憩			
11:10~11:40	発表④	園山 裕之	学習内容の構造分析に基づいた中学校理科授業の実践 —学習内容のつながりを重点にして—

11:40～12:10	発表⑤	足立 理子	高等学校の教育相談における実践的課題に関する研究 —高校一年生時に問題化した事例の検討を通して—
昼食・休憩			
13:20～13:50	発表⑥	倉信 充人	学習内容をより定着させるための中学校理科授業の工夫 —自作「水流モデル」による「電流」単元の授業実践を通して—
13:50～14:20	発表⑦	前川 めぐみ	中学校における英文読解指導 —生徒の動機づけと読解方略に焦点をあてて—
14:20～14:50	発表⑧	瀬川 明臣	人との関わりと文化への体験的理解を深める小学校外国語活動の授業研究 —Q-Uとの関連を視点に取り入れた授業構想をもとに—
休憩			
15:00～15:50	指導講評	吉田 裕三 先生 元島根県出雲市立北浜小学校長 井田 博之 先生 元鳥取県西伯郡伯耆町立岸本中学校長	
15:50～16:00	閉会式		

(4) 現職教員課題研究発表および意見交換 (PHOTO4)

日時：平成27年2月5日（木） 8:30～11:45
目的：現職教員短期1年履修コースの大学院生が取り組んだ「特別課題研究」の成果について、島根大学教育学部主催（附属教師教育研究センター担当）の「現職教員研修」者と現職院生とが研究交流を実施し、研究成果を教育現場に活かすために、検討を行う。
場所：島根大学教育学部棟 517室, 265室, 212室

IV 本コースの一年の歩み

(1) 本コースの特色

本コースでは1年間の在学、研修によって「修士（教育学）」の学位と専修免許状の取得が可能である。その特色として、

- ①オーダーメイド型のカリキュラムと②複数指導教員による「特別課題研究」の指導がある。
- ① オーダーメイド型のカリキュラムでは、以下の表1のように自由選択科目8単位分を所属する専攻・コースの別なく、履修したい講義を受講し、単位を取得することができる（一部臨床心理コースのものを除く）。そのため、院生自身の興味関心や指導教員のアドバイスにより、幅広い学習を行うことができる。

表1 履修基準

授業科目の区分	教育実践開発専攻	教育内容開発専攻
コース共通科目	6	6
選択分野（コース）科目	16	16
自由選択科目	8	8
合計	30	30

- ② 複数指導教員による「特別課題研究」では、2つの特徴がある。一つ目が一人の現職院生に対して、研究テーマに沿った研究指導教員2名と短期1年履修コースを担当する現職教育支援センターのメンバーから1名の計3名で指導する体制である。例として、中学校の社会科教員が院生となり、本人の研究テーマが「学級内における特別支援の必要な生徒に対する指導法」であった場合、特別支援教育を専門とする指導教員と社会科教育を専門とする指導教員の2名が指導する体制となる。現職教育支援センターからの指導教員は、そうした教員間のマネジメントを主に担当する役割である。二つ目として、既述した指導体制のもと「特別課題研究I・II」（計8単位、表1の選択分野（コース）科目の16単位に含まれる）の内容である。2名の研究指導教員による指導の下、多くの院生が自分の研究テーマについての先行研究の渉猟、研究テーマ・課題の抽出、授業実践のための研究、授業実践、授業の評価、研究テーマの再検討を行うことになる。こうした指導体制、カリキュラムの下、1年間という短い期間ではあるが、研修の内容を深めることが可能なシステムを構築している。

（文責：現職教育支援センターセンター長 多々納道子）



PHOTO1：『特別課題研究』中間発表会



PHOTO2：平成26年度 現職教員1年短期履修コース『特別課題研究』成果発表会1



PHOTO3：平成26年度 現職教員1年短期履修コース『特別課題研究』成果発表会



PHOTO4：平成26年度 現職教員研修者との交流会